

公共交通対策の改善方策について(交通結節点・利用促進策)

現状と課題

対応策

- 松橋駅を通る系統の18.4%(上り)、下り(39.5%)の割合でJRで接続しているが、どの程度の接続率が望ましいか。また、松橋駅行のバスとJRとの接続率向上の検討は必要はないか。
- 松橋駅周辺を運行するバスがあるものの駅前(近く)に停車してしない。
- 自転車による通勤・通学者の多さや送迎時間帯には送迎自動車が珠数つなぎになるほどの渋滞が発生。
 - 通勤・通学の時間帯に特化した循環バスの必要性。(既存系統の代替や小型バス運行の検討)
- バスの乗車より松橋駅への送迎車が圧倒的に多い状況から、どの方面からの送迎が多いのかの調査が必要ではないか。
- 高齢化の進展による免許返納者が増加する中で、これらの方々が公共交通機関の利用を促すための対策が必要ではないか。

- ① 通勤・通学の時間帯における接続率の検討、JR出発時刻に合わせた系統の見直しが必要。(高校生や保護者含む市民ニーズ調査の実施)
- ② 松橋地区内(主に駅周運行系統)のバス系統の見直し
- ③ 学校、病院、行政機関等を結ぶコミュニティバス(地域循環バス)を運行させることが必要。
- ④ 既存系統の代替方策の検討。
- ⑤ 平成28年11月の利用者アンケートの分析に加え、JR降車客の目的地や未利用者に対する意向調査が必要。
- ⑥ 市民ニーズ調査の中で免許返納者や買い物弱者の観点からの公共交通対策を検討。

公共交通対策の改善方策に関する提案(交通結節点・利用促進)

提案内容

対応策

②
③
④

1. JR松橋駅と学校、病院、行政機関、商業施設を結ぶ循環バスの運行に向けた検討

- 通学、通院、買物等JR松橋駅乗降客の松橋市街地へのアクセス向上策の検討
- JR松橋駅を利用する住民のバスによるアクセス向上策の検討

③
⑥

2. 市民ニーズを踏まえた宇城市にふさわしい持続可能な公共交通体系の検討

a. JR及びバス利用者等へのニーズ調査

- JR松橋駅利用者に対する駅乗入れ率、接続率、接続時間等のニーズ調査
- 上記ニーズ調査に基づく、運行ルートや回数の検討
- バス車内での利用者聞き取り調査に基づく運行ルートや回数の検討

b. 高齢者等への移動実態及びニーズ調査

- 高齢者、障がい者等の移動実態や公共交通へのニーズを調査し、今後増加する免許返納者や買い物弱者に対する地域公共交通の利用を促進するための方策の検討